



しおかぜ通信

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



R7,5,8 No,4

郡築小ホームページ

学習集会を行いました

令和7年4月30日(月)、体育館で「学習集会」を行いました。これは、「授業中の学習規律」について、学校全体で共通理解し、共通実践することを目的としています。

今回は5年生がモデルとなり、本校が目指す学習規律について、全体に示しました。5年生の姿はとても立派でした。参観した子供から

「これまで～ができていなかったから、これからはやります」や「5年生を見習いたい」などの感想が多く出されたことから、模範となつたことが分かりました。

学習規律は、子供が安心して学び、成長するための土台であり、将来の社会で活躍するための力にもなるものです。その効果には次のようなことがあります。



- * 規律が守られると、子供は授業に集中しやすくなり、安心感を得ることができます。
- * 規律ある学習環境は、学力向上に繋がります。
- * 規律は、集団行動の重要性や他者との協調性を育む上で重要な役割を果たします。
- * 規律の中で、子供は自分のペースで学び、自己責任を果たすことを学びます。
- * 規律は、問題解決能力など、将来の社会で必要とされる能力を育む基盤となります。

郡築小学校では、「学習規律を守ること」の必要性や効果について丁寧に伝え、納得感や主体性を高めると共に、適切なサポートを行う中で習慣化させていくと考えています。

靴箱の靴揃えられました、さすが上級生

八代市立の学校では、「育ちと学びの土台づくり」として、愛言葉「あいさつ・ききかた・そろえかた」に取り組んでいます。目的は、「学力向上」や「良好な人間関係づくり」などで、その内容は次の3点です。

- * 自分からすすんであいさつをする
- * 話す人の顔を見てしっかり話を聞く
- * 靴のかかとを靴箱の手前のへりにそろえる

本校では、まずは教師が子供たちへ認め・ほめ・励まし・伸ばす指導を基に積極的に働きかけ、その後は子供が主体的に取り組むように支援していきたいと考えています。

今回は、この中の「そろえかた」の様子についてお伝えします。本校では、「どんなに急いでいても脱いだ靴を手に持ち、靴箱の縁に揃えよう」と呼びかけています。この行為により、心にブレーキがかかり、そこから「気づき」や「集中力」、「落ち着き」が生まれるもので。それを「学力向上」や「いじめの未然防止」に繋げていくと考えています。(現在のところ、トイレのスリッパが並んでいないことが多いので改善に期待しています)

校内では、運動会の練習が始まり、少しずつ慌ただしくなっています。こういうときこそ、靴を揃えて心にブレーキをかけ、落ち着いて生活してほしいと思っています。

ご家庭でも、玄関の靴やトイレ等のスリッパを毎回揃えるようにお話し下さい。ご家庭と学校で共通の指導がなされ、それが継続したとき、習慣となり力として身につきます。よろしくお願ひします。



学校ホームページは本紙右上の QR コードからご覧いただけます。学級の様子なども掲載していますので、是非ご覧ください。